

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料料名	原産国	含有区分	文獻	修正 使用 措置	感染症(PID)	出典	概要
927	2008/02/26	70927	大日本住友製薬	アガルシンダーゼ 元)	乳糖	ウシ乳	米国	製造工程	無	無			
928	2008/02/26	70928	大日本住友製薬	アガルシンダーゼ 元)	トリブシン	ブタ膀胱	米国又はカナダ	製造工程	無	無			
929	2008/02/26	70929	大日本住友製薬	アガルシンダーゼ 元)	ヘパリン	ブタ膀胱	米国、カナダ又は中国	製造工程	無	無			
930	2008/02/26	70930	大日本住友製薬	アガルシンダーゼ 元)	ヒト線維肉腫由来細胞株(HT-1080由来)	ヒト細胞株	米国	製造工程	無	無			
931	2008/02/26	70931	フェリング・ファーマ	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	閉経後婦人尿	アルゼンチン	有効成分	有	無	放痘	ProMED-mail20070730.2445	アルゼンチンAzul郡で2007年7月24日に妊娠した雌ヒツジ1頭が死亡しているのが発見され、検査キットおよび培養で放痘陽性であった。
											エボラ出血	WHO/CSR 2007年9月11日	コンゴ民主共和国保健省はKasai Occidental州におけるエボラ出血熱のアウトブレイク1件を確認した。米CDCなどで実施された検査で、このアウトブレイクに関連した症例から採取された検体でエボラウイルスが確認され、Institut National de Recherches Biologiques (INRB)が実施した疑い例からの尿および血液検体の検査でA群赤痢菌 type 1が確認された。2007年9月11日現在、WHOは同州で本アウトブレイクに関連した症例372例および死亡186例を認識している。
											リケッチア症	OIE/Q fever, Argentina 2007年9月17日	アルゼンチンにおけるQ熱 Follow-up report No. 2 (最終報告) : 開始日 - 2005年11月10日、アウトブレイクの確定日 - 2005年11月10日、報告日 - 2007年9月14日、前回の発生日 - 1998年、病因 - Coxiella burnetii、本報告における新たなアウトブレイクはない、感染源 - 不明もしくは結論に到達していない。
											放痘	ProMED-mail20071001.3246	アルゼンチンで、ドモロコシの切り株のある場所で放牧されていた300頭のウシの群れに放痘のアウトブレイクが発生した。干ばつ後の降雨の後に突然5頭が死亡した。この農場では5年前にも放痘が流行した。
											放痘	ProMED-mail20071004.3287	アルゼンチンBuenos Aires州で放痘のアウトブレイクが確認された。アウトブレイクが確認された農場はPartido de La Madridにあり、これまでに動物2頭が突然死亡した。この農場では2004年にも放痘が発生した。